

評価項目及び評価基準表

業務名：大倉山ジャンプ競技場ラージヒル改修実施設計等業務

実施委員審査項目（各委員が採点）

審査項目	評価項目	評価の視点	配点
1. 業務実施体制	(1) 企業の類似業務実績	ジャンプ競技場の改修設計という専門性や特殊性の高い業務内容に対して、履行に必要な適切な業務実績を有しているか。	25
	(2) 配置技術者	各工種の配置技術者は、統括責任者として、本業務の履行に有効な類似業務実績や保有資格等を有しているか。	
	(3) 業務スケジュールの創意工夫	厳しい履行期間の中で効果的・効率的に業務を履行するため、具体的な業務履行上のコントロールポイントやこの解決に向けた工夫が盛り込まれ、確実性の高い業務スケジュールとなっているか。	
	(4) 複数工種を統合した管理体制	複数工種にまたがることを踏まえ、設計内容の調整や情報共有、進捗管理、成果確認等について、工種横断的で有効な管理体制や管理方法となっているか。	
2. 業務実施方針	(5) 基本設計を踏まえた実施方針の策定	各工種の設計にあたり、基本設計の中間報告を踏まえた不確定要素や課題の解決手法について、明確な判断根拠に基づく質の高い検討プロセスが期待される実施方針となっているか。	15
3. 提案内容	(6) 設計者が主体となる三者協議の推進	発注者、優先交渉権者、設計者の三者それぞれが有する情報・知識・経験を融合させながら設計を進め、三者間での合意事項を積み重ねていくための手法について、設計者が能動的に役割を担う形で効果的な提案されているか。	60
	(7) 技術提案内容の精査	優先交渉権者からの技術提案を設計へ反映するにあたり、提案内容の確認や評価のほか、適用の可能性、有効性、課題等の整理を行う手法について、具体的かつ有効な提案がされているか。	
	(8) 工事費用の確認	優先交渉権者から設計の進捗に応じて示される全体工事費に対する妥当性の確認について、具体的な手法やタイミングなど、効果的な検証プロセスが提案がされているか。	
	(9) 対外調整の工夫	調整が必要な相手および内容を理解し、設計への反映に向けた留意事項およびその解決に向けた効果的なプロセスが提案されているか。	
	(10) その他独自提案	業務目的を達成するにあたり、独自提案の内容に具体性と信頼性があり、有効な提案となっているか。（独自提案がない場合、当該評価項目はゼロ点とする）	
		合計（委員一人あたり）	100